

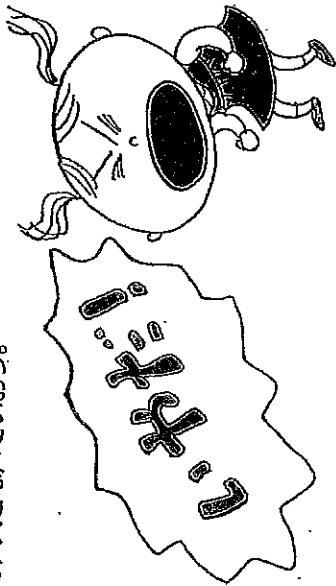
いざというとき、自分を守るには――

「いやだ」という「にげる」「相談する」

● NO GO TELL

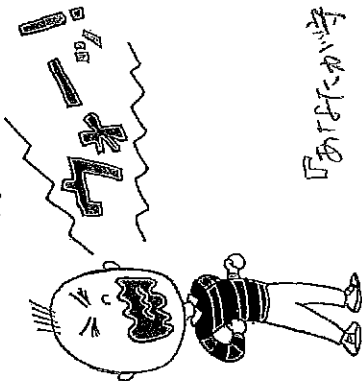
ゆみこちゃん、ひでおくん、やえこちゃんに おきたようなことが、もし、あなたにおきたら……つぎのように行動しよう。

❑ 「いやだ」「やめて」って、大きな声でいおう。



❑ 特別な大声をだそう。

でも、もしかしたら、あまりこわくて、「いや」「やめて」って、いえないかもしれない。大声がでないかもしれない。それでも、あなたは、ちっともわくはないんだよ。わるいのは、あなたの「安心」「自信」「自由」の権利を、とりあげようとした人なのだから。



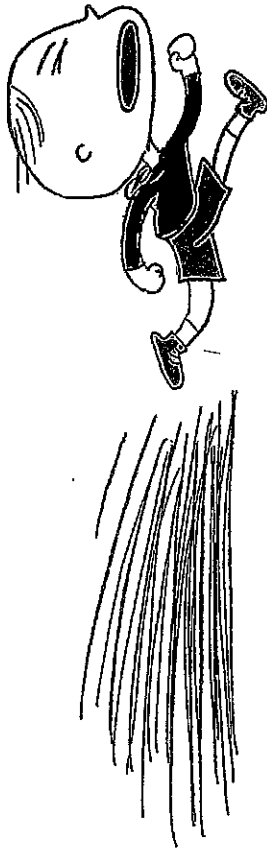
「おはにかい守る あなたのU・あひのからたよ」

作 森田マリ 絵 平野理子

雑誌創刊出版 1997年 才1版1

2012年 才29版1

❑ 走ってにげよう。



❑ こわい思いをしたことを、だれか まわりのおとなに*まよ*いおう。

必ずいおう。だれだったら、あなたのいうことを信じてくれるかな？

おかあさん？ おとうさん？ しんせきの人？ 学校の先生？ とりのおばさん？
あなたの話を わかってくれる人が見つかるまで、いいつづけるんだよ。

